



ケガの原因3：切る・刺さる

～「大人」と「子ども」で多く発生しています～

1 実際の事故事例

高齢者 【65歳以上】

- 調理中に誤って、包丁で指を切った
- 作業中にハサミを使用していたところ、誤って手のひらを切った

大人 【18歳～65歳未満】

- 小型研削盤を使用していたところ、誤って膝に落としケガをした
- 研磨剤を使用していたところ、誤って刃が腕にあたりケガをした
- チェーンソーを使用していたところ、誤って刃が手にあたりケガをした
- 伐採機により木の枝を裁断中に、手を機械に巻き込みケガをした
- ミシンを使用中に、手を入れてしまい針が刺さりケガをした

子ども 【7歳～18歳未満】

- 空の水槽に座っていたところ、水槽が割れて臀部にガラスが刺さりケガをした
- 掃除中に掛け時計が落下し、割れたガラス片で足をケガした

乳幼児等 【0歳～7歳未満】

- 歯みがき中にフローリングで滑って転倒し、口の中をケガした
- 手に編み物用の針を持って歩いていたら転倒し、針が口の中に刺さりケガをした
- 釣針で遊んでいたところ、誤って指に刺さりケガをした

2 予防と対策

☆工具の操作に注意

- 電動工具や機械の事故は、大きなケガにつながるため、取扱説明書をよく読み正しく使用しましょう。

☆調理中に注意

- 包丁やハサミ等、普段使い慣れている物でも刃物を取扱う場合には安全に配慮しましょう。

☆歯ブラシなど口に入れたまま行動させない

- 子どもが歯ブラシ等を使用している時は、歩いたり、走ったりさせないようにしましょう。

「切る」・「刺さる」によるケガは、止血などの応急手当が必要な場合があるため、応急手当を身につけましょう！

「予防救急」を始めましょう